

様式第一号の八（第3条の2関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 5 月 8 日	
岩手県知事 達増 拓也 様	
提出者	
住 所 岩手県岩手郡岩手町大字沼宮内9-11-3	
氏 名 株式会社 佐 藤 建 設	
代表取締役社長 佐藤孝司	
電話番号 0195-62-2305	
循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 佐藤建設
事業場の所在地	岩手県岩手郡岩手町大字沼宮内9-11-3
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 913,101 千円
③ 従業員数	40 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら：委託処理（破砕） アスコンがら：委託処理（破砕） その他のがれき類：委託処分（埋立処分） ガラス・陶磁器くず：委託処理（破砕再生・安定型埋立） 廃プラスチック類：委託処理（破砕再生管理型埋立） 金属くず：委託処理（スクラップ化・再生） 混合廃棄物・繊維くず：委託処理（焼却・管理型埋立） 石綿含有産業廃棄物：委託処理（埋立処分） 紙くず：委託処理（焼却管理型埋立） 木くず：委託処理（破砕再生・焼却・管理型埋立） 廃石膏ボード：委託処理（埋立処分） 水銀使用製品産業廃棄物：委託処理（破砕）



(A4)

※ この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所が対象です。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	514.040 t	39.010 t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の大半が、道路建設現場からのがれき類（As・Coがら）である。搬出の際はできるだけ付着物を付けないように徹底し搬出の削減をしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	500.000 t	35.000 t
	（今後実施する予定の取組） 付着物を減量し、廃棄物の搬出量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生可能な廃棄物厳分別を密にしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後とも継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも自ら処理する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも自ら処理する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	514.040 t	39.010 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	514.040 t	39.010 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) がれき類、木くず類は再生資源化処理業者に委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	500.000 t	35.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	500.000 t	35.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生資源化施設に搬出していく。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。